

29-0808 W61-2

患者に優しい製剤-高コレステロール血症治療薬コレスチミドゼリーの開発-

○土屋 千佳子¹, 遠藤 尚子¹, 青木 歩¹, 花輪 和己¹, 鈴木 正彦¹, 花輪 剛久¹,
小口 敏夫¹ (¹山梨大学医学部附属病院薬剤部)

[目的] 高脂血症治療薬コレスチミド (コレバイン[®]; CB 三菱ウェルファーマ) は錠剤, 顆粒剤および錠ミニの3剤形が発売されているが, 何れも1回服用量が多く水分により膨張するため, 患者のコンプライアンス低下が問題となっている. 一方, ゼリー状製剤は誤嚥の可能性が低く, 水分制限を必要とする患者にも投与しやすい. 本研究では製剤の服用感の改善を目的とし, 既存製剤と同等なコール酸Na (ChoNa) 吸着能を有するCB含有ゼリー状製剤 (CBゼリー) の開発およびその*in vitro* 評価法の確立を試みた. [方法] アルギン酸Naを添加したCBゼリー (A処方) とNaClを添加したCBゼリー (B処方) を用いた. ChoNaを精製水およびJP14崩壊試験法第2液 (2液) 中に溶解し, 試験液とした. CBゼリーのChoNa吸着能は, 予め破碎し試験液中に投入するホモミキサー法および試験液投入後に破碎するパドルビーズ法により評価した. ChoNaおよびCBゼリーの投入量は種々変化させた. [結果・考察] A処方は既存製剤と比較して交換容量が大幅に低下したため不適であった. B処方および既存製剤は2液中の液性環境の影響を受け, 投入量の低下に伴いChoNa吸着能が低下したが, 何れの条件下でも同様の吸着挙動を示した. 本研究の結果, B処方のCBゼリーが既存製剤と同等なChoNa吸着能を有することが明らかとなり, 患者のCBの服用感改善に応用可能であると考えられた.